

# 農林土木工事特記仕様書（令和7年7月1日以降適用）

## （農林土木工事共通仕様書の適用）

**第1条** 本工事は、徳島県農林水産部「徳島県農林土木工事共通仕様書令和6年10月」に基づき実施しなければならない。ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改定された最新のものとする。

なお、工事途中で改定された場合は、この限りでない。

## （農林土木工事共通仕様書に対する変更仕様事項）

**第2条** 「徳島県農林土木工事共通仕様書 令和6年10月」に対する特記事項は、次のとおりとする。

### （共通仕様書の読み替え）【変更】

「1-1-1-24 建設副産物」において、「建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）」とあるのは「コブリス・プラス」と読み替えるものとする。

### （現場代理人及び主任技術者等）【変更】

#### 1-1-1-15 現場代理人及び主任技術者等

##### 1. 選任通知

(4) 受注者は、選任通知書に次のものを添付しなければならない。

② 監理技術者を選任した場合（下請金額の総額が5,000万円以上）は、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証（それぞれ表、裏とも）

### （しゅん工標）【追加】

#### 1-1-1-57 しゅん工標の設置

受注者が希望する場合、次の工事（構造物）を対象に工事に携わった技術者の氏名を標柱（様式第2号）または標板（様式第3号）に記すことができる。

対象工事（構造物）：擁壁、カルバート、橋梁上部工、橋梁下部工、トンネル、堰（頭首工）、水門、樋門（樋管）、砂防堰堤、治山ダム、シェッド、法面、（揚）排水機場

対象技術者：監理（主任）技術者氏名

### （工事成績評定の選択制）

**第3条** 当初請負額が500万円以上、3,000万円未満の指名競争入札及び一般競争入札（価格競争）並びに随意契約により発注する請負工事、変更請負額が増額により500万円以上となった工事は、別に定める「工事成績評定の選択制試行要領」を適用する。

2 前項の対象工事の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「工事成績評定に関する意向確認書」（以下「意向確認書」という。）を発注者契約担当に提出しなければならない。

3 受注者は、工事成績が格付を定める場合の主観点数の算定及び総合評価落札方式の評価項目等に活用されていることを踏まえ、工事成績評定の選択を適切に判断の上、意向確認書を提出するものとする。

4 施工途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、しゅん工時、契約変更により請負額が500万円未満となった場合は、評定は行わないものとする。

5 受注者が評定の実施を希望しない場合であっても、次のいずれかに該当した場合は、評定を行うものとする。

(1) 徳島県工事検査規程第7条の補修工事の請求又は第8条の簡易な修補の指示が行わ

れた場合

- (2) 工事成績表の考査項目別運用表「別紙－２④『７．法令遵守等』」又は、考査項目別運用表（公共建築工事）「別紙－２⑤『８．法令遵守等』」の評価事例に該当する行為が行われた場合
- (3) 監督員等から文書により改善指示が行われた場合

工事成績評定の選択制試行要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5037327/>

#### (1日未満で完了する作業の積算)

- 第4条** 1日未満で完了する作業の積算（以下、「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。
- 2 受注者は、別に定める「1日未満で完了する作業の積算（農林土木）」の別表に掲載されている施工パッケージ単価において、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
  - 3 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
  - 4 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要となる根拠資料（日報、見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
  - 5 災害復旧工事等で人工精算する場合、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

1日未満で完了する作業の積算について（農林土木版）

徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/5052994/>

#### (熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行)

- 第5条** 本工事は、日最高気温が30度以上の真夏日の日数に応じて現場管理費率の補正を行う試行工事であり、別に定める「熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行要領（農業土木版）（以下「試行要領」という。）」を適用する。
- 2 施工箇所点在型の場合、点在する箇所毎に日最高気温が30度以上の真夏日の日数に応じて補正を行うことができるものとする。
  - 3 夜間工事の場合、作業時間帯の最高気温が30度以上の真夏日を対象に補正を行うことができるものとする。
  - 4 試行にあたり、気温の計測方法及び計測結果の報告方法について事前に監督員と協議を行うものとする。尚、計測方法は最寄りの気象庁公表の気象観測所の気温（日最高気温30℃以上対象）または環境省公表の観測地点の暑さ指数（WBGT）（日最高WBGT25℃以上対象）を用いることとする。

熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行要領（農業土木版）

徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/5029474/>

#### (現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）の対象工事)

**第6条** 本工事は、現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）の適用対象工事である。

2 受注者は、現場環境の改善を目的に、熱中症対策等を実施する場合は、「現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）計画書」を提出し、監督員と協議を行うことができる。なお、協議が整い、対策を実施した場合、「現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）に係る積算要領」に基づく設計変更の対象とする。

現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）に係る積算要領（農林水産部版）  
徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/7304457/>

#### （資材価格高騰に対する特例措置）

**第7条** 本工事は、資材価格高騰に対する特例措置の対象工事である。

2 本工事は、当初契約締結後において、設計単価を単価適用月から当初契約月に変更するものとする。

#### （仮設トイレの洋式化）

**第8条** 受注者は、仮設トイレを設置する場合、原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。なお、特段の理由がある場合はこの限りではない。

2 受注者は、設計図書の変更までに、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。

- ・洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化した仮設トイレのこと。
- ・快適トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施錠の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。

#### （建設現場の遠隔臨場に関する試行工事【受注者希望型】）

**第9条** 受注者は、本工事において遠隔臨場の実施を希望する場合は、監督員と協議のうえ、「建設現場の遠隔臨場の試行工事（受注者希望型）」とすることができる。

2 試行工事とする場合は、次の URL にある「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領」を適用することとする。

建設現場の遠隔臨場に関する試行要領（農林水産部版）について  
徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/5049014/>

#### （情報共有システム活用工事【受注者希望型】）

**第10条** 受注者は、本工事において情報共有システム（以下、「システム」という。）

の活用を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、システム活用の試行対象工事（以下、「対象工事」という）とすることができる。

2 対象工事等は、次の URL にある「農林土木事業における情報共有システム活用試行要領について」を適用することとする。

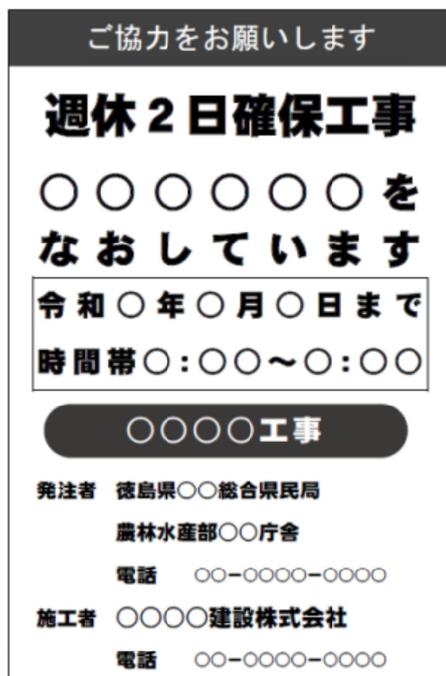
農林土木事業における情報共有システム活用試行要領について【農林水産部】  
徳島県CALS/EC HP  
<https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/nourinjyouhoukyouyuu/>

### (週休2日確保工事)

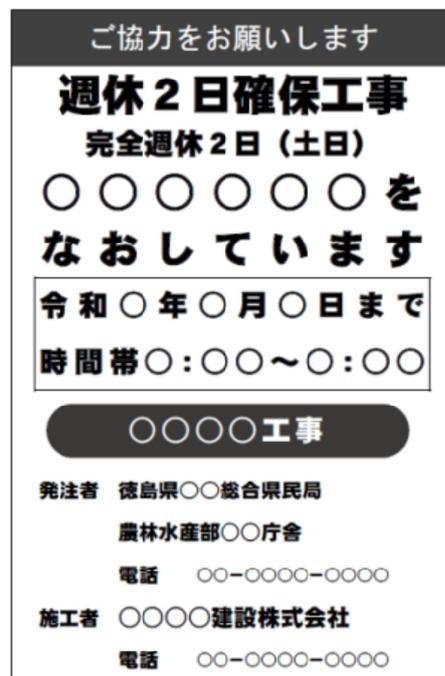
- 第11条 本工事は、建設工事の中長期的な担い手の確保等を目的とし、現場閉所による週休2日に取り組む「週休2日確保工事」であり、別に定める「週休2日確保工事等実施要領（以下「実施要領」という。）」を適用する。
- 2 実施要領に基づき本工事で完全週休2日（土日）に取り組む場合は、工事着手までに取り組む意思を発注者に通知し、受発注者で協議しなければならない。
- 3 本工事の経費の負担は、実施要領第9条（1）による。
- 4 施工に先立ち工事現場又はその周辺の一般通行人等が見やすい場所に設置する標示板に、週休2日確保工事であることを記載するものとし、下図を参考とする。

週休2日確保工事等実施要領

徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/5016651/>



(標示板記載例) 月単位の場合



(標示板記載例) 完全週休2日（土日）の場合

### (見積施工歩掛実態調査)

- 第12条 本工事の原動機分解整備の歩掛は見積により決定しており、その実態を把握するために調査を行うこととしている。よって、受注者は、発注者から提供される調査票の提出に協力しなければならない。

### (本工事の特記仕様事項)

- 第13条 本工事における特記仕様事項は、次のとおりとする。

## 特記仕様事項

### 第1章 総則

#### 第1節 一般事項

##### 第1条 目的

本工事は、伊澤裏排水機場のポンプ設備の整備を行うことにより、施設の機能保全を図ることを目的とする。

##### 第2条 工事場所

板野郡松茂町

##### 第3条 工事概要

1号原動機整備            1基 現地分解整備

##### 第4条 工사용電力

本工事は、整備に必要な電力は、請負者の負担とする。

##### 第5条 提出書類

提出書類は次のとおりとする。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| (1)承認図書     | 2部        |
| (2)完成図書     | 2部        |
| (3)その他協議資料等 | 監督員の指示による |

##### 第6条 準拠規定等

本工事は、次の規格及び基準並びに法規等を遵守しなければならない。

- 1) 徳島県農林土木工事共通仕様書
- 2) 施設機械工事等共通仕様書（農林水産省）
- 3) 施設機械工事等施工管理基準（農林水産省）
- 4) 土地改良事業計画設計基準 設計「ポンプ場」
- 5) 日本工業規格 J I S
- 6) 日本電気工業会標準規格 J E M
- 7) 電気規格調査会標準規格 J E C
- 8) 電気設備計画設計技術基準（農林水産省）
- 9) 労働安全衛生規則
- 10) その他関係法、規格、基準

## 第2章 原動機工

### 第1節 原動機修繕工

#### 第1条 整備内容

現地分解整備

#### 第2条 ポンプの諸元

1号主ポンプの諸元は次表のとおりとする。

項目	仕様	備考
品名	1号原動機	
仕様	形式	ディーゼル機関
	機関名称	6KDL
	定格出力	100PS
	定格回転数	1000rpm
	シリンダ数	6
	シリンダ径×行程	φ145×170mm
	資料燃料	A重油 (JIS K 2205 1種)
	使用潤滑油	新SAEサービスグレード CD級
	潤滑方式	歯車ポンプによる強制潤滑
	冷却方式	渦巻ポンプによる強制冷却
	始動方式	セルモーター
回転方向	左 (ハズミ車側ヨリ見て)	
数量	1台	

#### 第3条 取替部品

1号主ポンプ整備の際の取替部品は次表のとおりとする。

資材名	規格・寸法	単位	数量	備考
ヘッドガスケット		枚	6	
シリンダーヘッド側フタパッキン		枚	12	
ゴムキャップ		個	12	
アンチチャンバーパッキン		枚	12	
ヘッドオーリング		枚	36	
折曲座金		個	6	
バルブステムシール		個	6	
ガバナパッキンセット		式	1	
側蓋パッキン		枚	4	
排気マニホールドガスケット		枚	6	
排気集合管パッキン		枚	3	

排気出口パッキン		枚	1	
潤滑油濾過器パッキンセット		組	1	
潤滑油		L	60	
潤滑油クーラーパッキンセット		組	1	
燃料ポンプ吐出弁		個	6	
燃料吐出弁パッキン		個	6	
燃料ポンプ吐出オーリング		個	6	
燃料ポンププランジャー		個	6	
燃料ポンプパッキンセット		組	1	
燃料濾過器パッキンセット		組	1	
噴射ノズル		個	6	
噴射ノズルケースナットパッキン		枚	6	
スプリング押えパッキン		枚	6	
ノズル調整板		個	6	
冷却ポンプメカニカルシール		個	1	
冷却ポンプフェルトパッキン		個	1	
冷却ポンプパッキン		枚	2	
冷却ポンプベアリング		個	2	
Vベルト		本	1	
冷却水分配管パッキン		個	6	
冷却水集合管パッキン		個	6	
冷却水配管パッキン		組	1	
配管パッキン		式	1	
銅パッキン		式	1	

#### 第4条 試運転調整

整備が完了した時は、監督員立会のもと、現場において試運転調整を行い、原動機の運転に異常がないか確認するものとする。

異常が確認された場合は、監督員と協議し監督員の指示を得るものとする。

#### 第5条 報告

分解整備により第2章第1節第3条以外の部品の取替が必要と判断した場合は、速やかに監督員に部品の状態等を報告し、監督員の指示を得るものとする。